

# 「成績原簿」の見方

## 1. 科目成績欄

科目	単位	学年			
		1	2	3	4
①	②		③		

①科目欄 これまで本人が履修登録をして授業を受けた科目が表示されています。

※科目名の横に（他部）（他科）（全学）（互換）と表記されている場合は、所属学科以外の科目となります。

②単位欄 授業を受講した結果での評価が、「S, A, B, C, G, N」のいずれかで単位修得した場合に単位数が表示されます。修得した科目により単位数は異なります。

「D, K」（不可）評価の場合は、「0 単位」として表示されます。

なお、成績証明書には、「D, K」（不可）科目は表示されません。

③学年欄 各学年に受講した授業の評価結果が表示されます

<合格：単位修得>

S 100点～90点

A 80点～89点

B 70点～79点

C 60点～69点

G A, B, C 判定はしない科目で「合格」基準を満たした場合の評価

N 他の大学・短期大学・専門学校等で修得した科目や資格取得によって単位が認定された科目

<不合格：単位未修得>

D 59点以下

K 放棄 授業の出席回数が規定に満たない場合、試験を受験しなかった場合

## 2. 学籍異動欄

入学や進級、休学などで学年や学籍が異動した場合に表示されます。

学籍異動				
異動内容	学年	発効日	決定日	期限

## 3. 登録課程欄

課程登録が必要な資格に課程登録をした場合、資格名が表示されます。

登録課程	

#### 4. 本判定結果（4年生のみ表示）

- ①卒業判定・資格取得判定項目が表示されます。
  - ②①の判定結果が表示されます。
- は、可 ×は不可

本判定結果	
①	②

#### 5. 単位修得状況

各科目の修得単位数の合計が科目の分野ごとに表示されます。

卒業に必要な単位数については、学生へ配布している「社会福祉学部ガイド」で確認願います。

単位修得状況		(説明)
総合基礎科目		⇒ 総合基礎科目の修得単位数を示します。「L」で表示される項目は、総合基礎科目の内訳です。「所属学部開講科目」は、所属学部開講の総合基礎科目の修得単位数で、それ以外は、所属学科以外で開講されている科目を修得した単位数です。
L 所属学部開講科目		
L 他学科開講科目		
L 他学部開講科目		
L 全学教育センター科目		
L 単位互換科目		
専門科目		⇒ 専門科目の修得単位数を示します。「L」で表示される項目は、専門科目の内訳です。「所属学部開講科目」は、所属学部開講科目の専門科目の修得単位数で、それ以外は、所属学科以外で開講されている科目を修得した単位数です。
L 所属学部開講科目		
L 他学科開講科目		
L 他学部開講科目		
L 全学教育センター科目		
L 単位互換科目		
自由科目		⇒ 自由科目の修得単位数を示します。
資格科目		⇒ 資格課程登録者のみに開講されている科目の修得単位数を表示。
アフタヌーン開講		⇒ アフタヌーンコース所属の場合、アフタヌーンコース開講科目の修得単位数を表示。
要卒単位数		⇒ 上記単位数の内、卒業単位に含まれる科目の修得単位数の合計を表示。
総単位数		⇒ 要卒単位数以外も含め、修得した全ての単位数の合計を表示。

## ●本学における GPA 制度

本学における GPA は、N 評価（認定）、G 評価（合格）で評価される科目を除く全ての履修単位数を基本に、以下の方式で計算されます。

### (1) GPA の基準・算出方法

#### 【基準】

評 点	100 - 90	89 - 80	79 - 70	69 - 60	59 - 0	棄権	認定	合格
評 価	S	A	B	C	D	K	N	G
ポイント	4	3	2	1	0	0	-	-

#### 【算出方法】

各期間に履修した各科目の評価を数値換算し、各科目の単位数を乗じた数値の総和を総履修単位数（N、G 除く）で除した数字。

$$\frac{\{S(4点) \times \text{単位数} + A(3点) \times \text{単位数} + B(2点) \times \text{単位数} + C(1点) \times \text{単位数} + D(0点) \times \text{単位数} + K(0点) \times \text{単位数}\}}{\text{総履修単位数}(N, G \text{ 除く})}$$

GPA は、不合格（D）や棄権（K）を含めて計算します。このため、棄権科目や不合格科目があると、GPA 数値が低くなります。履修登録に際して、安易な科目選択はおこなわないようにするとともに、実際に受講してみて自身の学習志向や興味・関心に合致しない場合は、履修登録期間・履修修正期間に履修を取り消すなどするようにしてください。

### (2) GPA に応じた段階表示とコメント

段階表示	範囲	コメント（学期ごとに表示）
V	3.0 ~ 4.0	大変良好な学習状況です。
IV	2.5 ~ 2.9	良好な学習状況です。
III	2.0 ~ 2.4	もう少し積極的に学習しましょう。
II	1.5 ~ 1.9	履修科目について、しっかりと学習しましょう。
I	~ 1.4	履修登録段階からの計画を含めて学習全体の見直しが必要です。学習相談を行ってください。

## ●GPA の活用

GPA の数値は、資格課程の併修や、大学院の審査基準などに活用される場合があります。その場合は、それぞれの要項などにその旨が記載されますので、注意して確認してください。